

# 馬主だより

第 8 7 号

平成29年8月18日

発行 (一社)ばんえい競馬  
馬主協会事務局

## ☆“ばんえい十勝十周年” これからもファン目線で常に改革を！！ ～ 新しい挑戦 変わり続けることの大切さ そして勇気を持って ～

▼お盆も終わり十勝はすっかり涼しくなりました。季節は夏から秋へ向かいます。夏の暑さの疲れが出て来る時期ですが、食生活や生活習慣を見直し体が徐々に秋へと対応できる準備をしましょう。▼さて、今年も競馬の発売額は中央、地方競馬とも引き続き好調です。そうは言ってもピーク時の6割程度。今後もこの伸びを維持し続けて行くのは、娯楽やレジャーが多様化している昨今では、なかなか容易な事ではありませんが、伸ばせる要素はまだあります。▼“常にファンの目線で改革する”そこに意識を集中させる。そして新たな競馬ファンの開拓無くて売上げの向上に繋がることは決してありません。▼勿論、レースの公正性、透明性の確保はファンの信頼を得てファンを広げる為には最も重要な要素です。競馬関係者はこの事を肝に銘じ、競馬の関心を高める、興味が掻き立てられる常に新しい挑戦をし続けて行かなければなりません。変わり続けることの大切さ、そこには勇気が必要です。▼「ばんえい十勝」十周年目にしてようやく立つ。さあ、自らを奮い立たせ次のステップへ向かっていよいよ始動開始です！！

### 平成 2 9 年 度    ばんえい競馬    発売成績 (累計)

開催 5 2 日間

帯広市ばんえい振興室資料提供  
平成 2 9 年 8 月 1 4 日 終了時

区 分	発 売 金 額							
	平成29年度			平成28年度		対 比		
	日数	発売額	予算額	日数	発売額	予算	前年	
帯広競馬場	52	446,194,000	428,113,100	52	487,875,100	104.22	91.46	
直営場外	旭川北彩都	52	199,682,500	242,616,900	52	270,322,800	82.30	73.87
	ミトスポット北見	52	135,059,500	103,751,500	52	124,250,100	130.18	108.70
	ハロンス岩見沢	52	75,612,400	64,880,700	52	76,103,600	116.54	99.35
	ハロンス釧路	52	30,796,800	29,364,300	52	33,652,900	104.88	91.51
	ハロンス名寄	52	31,019,200	39,635,700	52	44,531,600	78.26	69.66
	アブスポット網走	52	22,935,300	14,939,200	52	20,601,900	153.52	111.33
	琴似駅前	52	44,645,500	45,331,100	52	49,675,300	98.49	89.87
	イルムふかがわ	52	27,900,300	23,896,100	52	30,399,000	116.76	91.78
電話投票	オッズパーク	52	1,826,008,900	1,682,929,100	52	1,699,333,300	108.50	107.45
	OP(七重勝)	52	14,258,500	39,000,000	52	15,505,700	91.96	91.96
	OP(五重勝)	52	21,607,800		52	14,555,000		148.46
	競馬モール	52	1,745,782,300	1,471,976,800	52	1,437,919,900	118.60	121.41
	SPAT4	52	1,718,014,300	667,195,400	17	428,068,900	257.50	401.34
広域場間場外	—	456,094,900	371,561,700	—	453,291,300	122.75	100.62	
場外・電設計	—	6,349,418,200	4,797,078,500	—	4,698,211,300	132.36	135.15	
合 計	52	6,795,612,200	5,225,191,600	52	5,186,086,400	130.05	131.04	
1日平均		130,684,850	100,484,454		99,732,431	130.05	131.04	

平成 2 9 年 度 該 当 開 催 (ばんえい競馬第 1 回 1 日目～第 9 回 6 日目まで 52 日間)

平成 2 8 年 度 該 当 開 催 (ばんえい競馬第 1 回 1 日目～第 9 回 6 日目まで 52 日間)

## 会議等の様子

### ○ 平成 29 年度第 2 回執行役員会開催！！

#### ～ 帯広市ばんえい振興室と意見交換 出走手当増額求める～

平成 29 年 6 月 24 日(土)当協会事務局会議室に於いて、平成 29 年度第 2 回執行役員会を開催。競走馬弔慰金の査定については、対象馬 6 頭について審議の結果、全て原案のとおり承認され給付額を決定しました。また、帯広市と意見交換に先立ち、発売成績、競走馬の頭数調べ等の現状を踏まえ、更なる出走手当の増額と当協会共済事業に対して新たな助成金を来年度以降検討していただくよう要請することとなった。

その他、今年度の精液検査実施に係る一部費用見直しについて、通常総会に於ける意見、要望の報告。また、獣医師の診療体制(休診日設定の検討)等について報告しました。

#### 【執行役員会議事】

- (1) 競走馬弔慰金の査定について
- (2) 帯広市意見交換事前協議
- (3) 精液検査に係る雌馬借上げ費用について
- (4) 通常総会における意見、要望について
- (5) その他 ① 獣医師の診療体制について

【馬弔慰金支給対象馬】 6頭 4,350,000円

内 訳

(単位:円)

馬 名	年齢	馬 主	給付別	馬弔慰金
ハクサンキング	2	渡 邊 悟	業務中	700,000
カカオボーイ	2	川 田 章 博	療養中	450,000
トモエエーカン	11	下内 美繪子	業務中	1,000,000
リュウセイニシキ	2	大 熊 金 八	業務中	700,000
バトルドラゴン	10	高 橋 史 敏	業務中	800,000
ハイトップエース	2	高 山 支 征	業務中	700,000

### ○ 平成 29 年度第 3 回執行役員会及び第 2 回理事会を開催！！

#### ～ 第 22 回通常総会意見、要望等懸案事項について協議 ～

平成 29 年 7 月 8 日(土)当協会事務局会議室に於いて、平成 29 年度第 3 回執行役員会及び第 2 回理事会を開催しました。

執行役員会は、第 2 回理事会開催に先立ち事前に意見調整を行いました。

理事会では、報告案件が第 1 号から第 6 号まで報告。その後、懸案事項として第 22 回通常総会における意見、要望等について事務局から報告を行い、関係機関に要請する事項と当協会内部で検討すべき事項について種々協議。今後、検討課題として引続き議論を深めて行くこととなりました。また、「JRA ジョッキーDAY2017」については、今年度で 11 回目となる当該イベントですが、今年も 8 月 21 日(月)帯広競馬場で 10 名の JRA 騎手を迎え実施することを報告、診療所の休診日について、主催者はじめ調教師会とも協議を踏まえ 7 月以降、毎月二週間に 1 日程度休診日設ける旨、会員に周知することを報告いたしました。

**【執行役員会議事】**

- (1) 競走馬弔慰金の査定について
- (2) 平成 29 年度第 2 回理事会議案について
- (3) その他

**【馬弔慰金支給対象馬】** 1頭 700,000円

内 訳

(単位:円)

馬 名	年齢	馬 主	給付別	馬弔慰金
イチオシ	2	長澤 幸男	業務中	700,000

**【第 2 回理事会議事】**

- 日程 1 報告第 1 号 競走馬弔慰金給付額の決定について
- 報告第 2 号 正会員の入会申込みについて
- 報告第 3 号 平成 29 年度種雄馬購買に係る精液検査結果
- 日程 2 報告第 4 号 ばんえい競馬発売状況等について
- 報告第 5 号 帯広市要請事項について
- 報告第 6 号 報償費等の改定について
- 日程 3 協議案第 1 号 第 22 回通常総会における意見、要望等について
- 日程 4 そ の 他 ① 「JRA ジョッキーDAY2017」イベント実施について
- ② 診療所休診日について（通知案）

**【正会員新規入会者】**

会員番号	入会者氏名	馬主登録番号	ブロック名
29- 2	末松 秀義	北15-06	道東ブロック
29- 3	二谷 守一	北16-10	道東ブロック
29- 4	佐渡 博	北17-05	道東ブロック
29- 5	高橋 健二	北17-09	道南ブロック

**【報償費の改定について】**

- 賞 金 準重賞競走及び特別競走の 1 着賞金を 30,000円増額
- 出走手当 2歳馬（普通競走）48,000円（改定前 45,000円）
- 3歳以上（1出走目）47,000円（改定前 45,000円）

注：上記につきましては、第 7 回開催（平成 29 年 7 月 8 日）より改定となっております。

**○ 平成 29 年度第 4 回執行役員会開催！！**

**～ 代表理事の辞任に伴い急遽理事会招集を決定 ～**

平成 29 年 7 月 17 日(祝月)当協会事務局会議室に於いて、平成 29 年度第 4 回執行役員会を開催。

赤堀前代表理事から、理事及び代表理事を辞任するに至った経緯等について説明を受け、代表理事が欠員を生じた場合の措置、代表理事としての権利義務、法人との関係等法的解釈や理事会招集手続きについて協議。通常招集手続きによる最短期日、7 月 25 日(火)に急遽理事会を開催することを決定、同日、招集通知しました。

### 【執行役員会議事】

- (1) 理事及び代表理事の辞任について
- (2) 代表理事の権利義務を有する者
- (3) 次回理事会招集通知及び日程調整について
- (4) その他

## ○ 平成 29 年度第 5 回執行役員会及び第 3 回理事会を開催！！ ～ 新たな代表理事及び業務執行理事を選任する ～

平成 29 年 7 月 25 日(火)当協会事務局会議室に於いて、平成 29 年度第 5 回執行役員会及び第 3 回理事会を開催しました。

執行役員会は、第 3 回理事会の議案及び議事の進行方法等について、執行役員において意見調整を行いました。また、理事会では、代表理事会長が欠員の為、大阪副会長が議長に選任され議事を進行しました。報告第 1 号理事及び代表理事の辞任については、事務局から辞任に至った経緯及び理事会招集までの判断、経過を含め報告。続いて議案は、代表理事の選任及び業務執行理事に欠員が生じた場合の選任について審議いたしました。

審議の結果、次のとおり、満場異議なく承認され新たな代表理事及び業務執行理事を選定いたしました。

なお、新代表理事及び業務執行理事の任期につきましては、当協会定款第 30 条第 3 項により、前任者の任期の満了するまで、即ち前任者の残任期間(来年の役員改選時まで)となります。

### (1) 新代表理事及び業務執行理事

役職名	就任者氏名	退任者氏名	就退任年月日
代表理事会長	大阪 武	赤堀 幸英	平成 29 年 7 月 25 日
副会長	長津 雄二	大阪 武	平成 29 年 7 月 25 日
専務理事	近藤 勝雄	長津 雄二	平成 29 年 7 月 25 日
常務理事 (公益事業担当)	広瀬 豪	近藤 勝雄	平成 29 年 7 月 25 日

### (2) 異動しない業務執行理事

常務理事 (公益事業担当)	松浦 正
------------------	------

注：上記以外の理事、監事については異動がありません。

### 【第 3 回理事会議事】

- 日程 1 報告第 1 号 理事及び代表理事会長の辞任について  
日程 2 議案第 1 号 代表理事の選任及び業務執行理事に欠員が生じた場合の選任について  
日程 3 そ の 他 ① 正会員の入会申込みについて  
② 「JRA ジョッキーDAY2017」イベント概要

### 【正会員新規入会者】

会員番号	入会者氏名	馬主登録番号	ブロック名
29- 6	(有)ミヤビ通商 代表取締役 真壁 雅彦	法16-1265	道南ブロック

## 情報・ご案内

### ○ 阿部武臣騎手 通算1,000勝達成！！

#### ～ばんえい歴代25人目 現役では9人目！～

阿部武臣騎手は、2017年7月1日(土)の第9競走でミノルシャープ号(牡3歳)に騎乗して優勝し、通算1,000勝を達成しました。1,000勝達成は、記録が残る昭和38年以降、ばんえい競馬史上25人目、現役では9人目です。おめでとうございます！！

阿部 武臣(あべ たけとみ)騎手プロフィール ※2017年7月1日(土)第9R終了時点	
生年月日	1972年7月19日(44歳)
出身地	宮城県大崎市
本年度成績	188戦 30勝
通算成績	10,789戦 1,000勝(うち重賞13勝)
初騎乗	1998年1月10日(騎乗馬:スーパーオリュウ号)
初勝利	1998年1月19日(騎乗馬:カツエコマ号)
重賞優勝	2002年 銀河賞 2008年 柏林賞(BG3) 2009年 ヒロインズカップ(BG2) 2011年 はまなす賞(BG3) 2012年 ばんえい十勝OP杯(BG2)、クインカップ(BG3) 2013年 チャンピオンカップ(BG2) 2014年 イレネー記念(BG1)、ばんえいダービー(BG1) 2015年 チャンピオンカップ(BG2) 2016年 ばんえい十勝OP杯(BG2)、はまなす賞(BG3)、ドリームエイジカップ(BG3)

### ○ 岩本利春調教師 通算1,000勝達成！！

#### ～ばんえい歴代18人目 現役では13人目！～

岩本利春調教師は、2017年7月8日(土)の第7競走で自身が管理するセンシヨウニシキ号(牡3歳)が優勝し、通算1,000勝を達成しました。

ばんえい競馬調教師の1,000勝達成は、歴代18人目(現役13人目)で、調教師デビューから13年目での記録達成となりました。おめでとうございます！！

岩本 利春(いわもと としはる)調教師プロフィール ※2017年7月8日(土)第7R終了時点	
生年月日	1958年1月17日(59歳)
出身地	北海道石狩郡当別町
調教師デビュー	2005年4月16日(管理馬:サカエオーカン号)
調教師初勝利	2005年4月17日(管理馬:フナノヨッチ号)
調教師通算成績	7,538戦 1,000勝(うち重勝7勝)
主な重賞優勝 (BG1)	2011年 イレネー記念 管理馬:ニュータカラコマ号 2014年 帯広記念 管理馬:ホリセンシヨウ号 2016年 イレネー記念 管理馬:フウジンライデン号

## レース情報

### ○ 重賞競走の結果

月 日	重 賞 名	馬 名	馬 主	調教師
7 月 2 日	第 11 回 柏林賞	マルミゴウカイ	宮本 康弘	槻館 重人
7 月 16 日	第 25 回 北斗賞	ニュータカラコマ	小森 唯永	尾ヶ瀬富雄
7 月 30 日	第 42 回 ばんえい大賞典	カネサスペシャル	坂井 秀彰	村上 慎一
8 月 13 日	第 29 回 ばんえいグランプリ	ニュータカラコマ	小森 唯永	尾ヶ瀬富雄

**優勝おめでとうございます！！**

#### ◆ 第 11 回柏林賞（4 歳オープン）

7 月 2 日（日）は重賞・柏林賞（4 歳オープン）が行われ、単勝 1 番人気のマルミゴウカイが優勝。昨年の 3 歳二冠馬が世代上位の力を示し、重賞 3 勝目を挙げました。

フウジンライデンが競走除外となり 8 頭の争い。昨年二冠を制し、ばんえい菊花賞でも 2 着、直前のライラック賞も制して波に乗ってきたマルミゴウカイが、最重量の 720 キロでも 1 番人気となりました。前走の A1 戦で 3 着に健闘したホクショウディーブが 2.5 倍で続き、ほぼ一騎打ちムード。すずらん賞を勝っているタフガイが 10.4 倍と、離れた 3 番人気となりました。

馬場水分は 0.6%と力のいる状態。道中はホクショウディーブ、アラワシキング、マルミゴウカイ、プレゼントウェーあたりが先行しますが、ゆったりとした流れで進みます。タフガイもこの一角で進み、5 頭が並んだ状態で第 2 障害を迎えました。

最初に動いたのはアラワシキングで、天板に脚をかけるところまで一気に登りましたが、ここで痛恨のヒザ折り。その隙をつくように、ひと呼吸入れてから仕掛けたホクショウディーブとマルミゴウカイが一気に障害を登り切り、並んで最後の平坦路に向かいます。立て直したアラワシキングが 3 番手、タフガイもその直後に続きますが、先頭の 2 頭にはだいぶ水をあけられる展開となりました。

先頭の 2 頭は手に汗を握る叩き合い合いを演じますが、残り 20 メートル付近でホクショウディーブの脚いろが鈍り、さらに 10 メートル標識手前でストップ。これで決着がつき、最後までしっかり歩き切ったマルミゴウカイが、貫禄の重賞 3 勝目を挙げました。ホクショウディーブはゴール前でも脚を止め、14 秒差の 2 着。激しくなった 3 着争いは、障害 5 番手から追い上げたプレゼントウェーに軍配が上がりました。

トップハンドのマルミゴウカイが、世代トップの力を見せつけて勝利。障害を越えてからもしっかりした脚どりで、重量や馬場をものともしない、圧巻のレース運びでした。今季は 4 歳限定戦ばかりに使われていますが、今のデキの良さなら、年長馬相手のオープンでも通用しそうな印象。さらなる活躍が期待できそうです。

### ◆ 第25回北斗賞（3歳以上オープン）

7月16日(日)は重賞・**北斗賞**(3歳以上オープン)が行われ、単勝3番人気のニュータカラコマが優勝。近況の充実ぶりを見せつけ、このレース3勝目を挙げました。

オレノココロが2.5倍の1番人気に推されましたが、以下センゴクエースまでの4頭が単勝ひと桁台。これらにキサラクキやフジダイビクトリーがどこまで食い込めるかという戦前予想になりました。

小雨模様で、馬場水分2.1%のなかスタート。湿った状態とはいえ、この時期としては重めの荷物だけに、各馬ゆったりと進みます。ニュータカラコマ、キサラクキ、セイコークインあたりが先行し、オレノココロは後方から機をうかがう展開となりました。

ただ、第2障害は各馬とも早めの仕掛け。ニュータカラコマ、サクラリュウ、フジダイビクトリー、コウシュハウンカイが一斉に障害を駆け上がります。なかでも抜群のかかりを見せたのはニュータカラコマで、障害巧者の面目躍如。先頭で障害を下り、逃げ切りを図ります。1馬身ほどの差でフジダイビクトリーが続き、コウシュハウンカイも並んで突破。サクラリュウ、センゴクエースも勝負圏内でクリアしました。オレノココロから離された6番手と、苦しい展開。

しまいに多少の不安を残すニュータカラコマにとっては、ここからが正念場。それでも軽めの馬場を味方に末脚を伸ばし、後続との差を保ったまま残り10メートルを迎えます。若干脚いろが鈍り、外からコウシュハウンカイが迫ってきたものの、なんとか先頭で荷物を運び切り、昨年に続く連覇、そして同レース3勝目を果たしました。2着はコウシュハウンカイで、3着には積極的な競馬を見せたフジダイビクトリーが入線しました。

ニュータカラコマはこれが重賞7勝目。手綱をとった藤野俊一騎手も話したとおり湿った馬場が味方したのは確かですが、障害力を発揮して逃げ切った内容はこの馬の真骨頂で、今の状態の良さがうかがえました。今後もスピード優先の馬場となれば、強さを発揮してくれるに違いありません。

### ◆ 第42回ばんえい大賞典（3歳オープン）

7月30日(日)は重賞・**ばんえい大賞典**(3歳オープン)が行われ、単勝最低人気の**カネサスペシャル**が優勝。半兄にカネサブラックをもつ良血馬が3度目の重賞挑戦でタイトルを獲得し、3歳三冠の初戦を制しました。

ともに5連勝中と勢いに乗るコウシュハサマーとミノルシャープが1番人気。堅実なレースぶりを見せるメジロゴーリキとウンカイタイショウが続き、5番人気のセンショウニシキまでが単勝ひと桁台。例年、一筋縄ではいかないレースだけに、割れ加減の人気となりました。

馬場水分0.9%のなか、砂煙を巻き上げて8頭が第1障害を突破。メジロゴーリキが先頭を奪い、コウシュハサマー、ミノルシャープの人気2頭がこれを追走。ウンカイタイショウもこの一角で進み、中間点を通過。やや縦長の展開で進みます。ホクショウムゲン、カネサスペシャル、センショウニシキあたりは様子を見るように中団位置を追走するかたちで、勝負どころの第2障害を迎えました。

ひと呼吸置いて、最初に仕掛けたのはメジロゴーリキ。コウシュハサマー、ミノルシャープなど、先行勢が早めに仕掛けます。なかでもメジロゴーリキが抜群の登坂を見せ、先頭で突破。コウシュハサマーはいったんヒザをつきかけたものの、立て直して2番手でクリアしました。ミノルシャープは2度のヒザ折りを喫して手間取り、その間にカネサスペシャルが3番手で障害を下りていきました。

いったんはコウシュハサマーに追いつかれたメジロゴーリキでしたが、残り30メートル付近から二枚腰を発揮し、再度1馬身ほどリード。しかし、代わって伸びてきたカネサスペシャルに次第に追い詰められる格好となります。そして、積極的なレース運びが響いたか、残り10メートルで痛恨のストップ。その間にカネサスペシャルが先頭に躍り出て、そのままゴールまで荷物を運び切りました。立て直したメジロゴーリキが2着で、3着にコウシュハサマー。障害

で苦戦を強いられたミノルシャープは4着に敗れました。

近況が今ひとつだったこともあり、今回は8頭立ての8番人気だったカネサスペシャルでしたが、ヤングチャンピオンシップで2着に食い込んだ実績からも、世代上位の力の持ち主。確かにハンデ差や、力の要る馬場で人気馬が積極的に運ぶレース展開が有利に働いたのもありますが、この大舞台で勝ち切ったあたり、底力と血統の奥深さを感じさせます。今後の成長次第で、さらにタイトルを積み重ねる可能性もありそうです。

#### ◆ 第29回ばんえいグランプリ（3歳以上選抜）

8月13日(日)は重賞・ばんえいグランプリ(3歳以上、ファン選抜)が行われ、単勝2番人気のニュータカラコマが優勝。北斗賞を含む4連勝を飾るとともに、重賞8勝目を挙げました。

コウシュハウンカイ、ニュータカラコマ、オレノココロの3頭が単勝3倍台で並び、三つどもえの戦前予想。これにセンゴクエースが7.1倍、フジダイビクトリーが10.6倍で続き、実績馬が上位人気を形成しました。前日の雨により、馬場水分は1.8%。基礎重量810キロと、この馬場水分のバランスをどう見るかがカギとなりました。

高重量戦とはいえ、さすがに選ばれた歴戦の猛者。各馬とも軽々と第1障害を越えていきます。わずかに先行したのはコウシュハウンカイで、ニュータカラコマ、キサラクキ、サクラリュウもこの一角。シンザンボーイが多少遅れたものの、他の9頭はほぼ一団で進み、そのまま第2障害を迎えました。

最初に動いたのはコウシュハウンカイ。それを見てニュータカラコマ、フジダイビクトリー、オレノココロ、サクラリュウと、有力どころが仕掛けます。抜群の登坂を見せたのはコウシュハウンカイとニュータカラコマ。並んで障害を突破し、マッチレースに持ち込みます。フジダイビクトリーとオレノココロは若干手間取り、やや離れた3番手で並んでクリアしました。

障害を下りてから、ニュータカラコマが若干のリードを奪いますが、コウシュハウンカイもしぶとく食い下がります。残り10メートルを切ったところで、ニュータカラコマの脚いろが鈍りましたが、追うコウシュハウンカイも伸びは今ひとつ。結局、半馬身ほどのリードを保って、ニュータカラコマが先頭でゴールを果たしました。コウシュハウンカイから2秒離れた3着にはオレノココロが入り、上位人気3頭の決着となりました。

今季初戦こそ5着に敗れたニュータカラコマでしたが、その後は8連続3着以内。しかも目下4連勝で、多少馬場が重くなっても踏ん張り切れている近況からも、今の充実ぶりは明らかです。これなら重量を積まれても大きく崩れることはなさそうで、引き続き重賞戦線での活躍が期待できそうです。

一方、コウシュハウンカイは今季6連続連対で、4戦続けての2着。勝ちきれないもどかしさがありますが、堅実に走れているのも確かです。今後も持ち前のセンスの高さに期待したいと思います。

オレノココロは障害で手間取ったというのがありますが、今回は馬場も味方しなかった印象。しまいの伸びは悪くなく、力の要る馬場になれば、いくらでもチャンスはあるでしょう。

※レース情報の内容につきましては、ばんえい競馬情報局より抜粋しています。